

ブラジル・ボンド・オープン (年1回決算型)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	約14年9カ月間（2013年8月9日～2028年4月25日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ブラジル・ボンド・マザーファンドの受益証券
	ブラジル・ボンド・マザーファンド	ブラジル・レアル建債券
マザーファンドの運用方法	①主として、ブラジル・レアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②投資にあたっては、以下のような点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。 イ．金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。 ロ．固定利付債および割引債の組入比率の合計を、信託財産の純資産総額の50％程度以上とします。 ハ．投資する債券は、政府、政府関係機関、国際機関等が発行するものとします。 ③外貨建資産の運用にあたっては、イタウ・ユニバンコ銀行の運用部門であるイタウ・アセットマネジメントの助言を受けます。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10％以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

運用報告書（全体版） 第5期 (決算日 2018年4月25日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ブラジル・ボンド・オープン（年1回決算型）」は、このたび、第5期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			J Pモルガン G B I－E M ブロード・ブラジル (円換算)		公 社 債 率 組 入 比 率	純 資 産 額 総
		税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率	(参考指数)	期 騰 落 中 率		
	円	円	%		%	%	百万円
1 期末(2014年 4 月25日)	11,480	0	14.8	11,467	14.7	97.2	51
2 期末(2015年 4 月27日)	11,031	0	△ 3.9	11,024	△ 3.9	97.5	70
3 期末(2016年 4 月25日)	9,717	0	△11.9	9,849	△10.7	97.1	76
4 期末(2017年 4 月25日)	12,893	0	32.7	13,441	36.5	96.5	120
5 期末(2018年 4 月25日)	12,801	0	△ 0.7	13,676	1.7	96.6	180

(注1) J Pモルガン G B I－E M ブロード・ブラジル (円換算) は、J Pモルガン G B I－E M ブロード・ブラジル (ブラジル・リアルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J Pモルガン G B I－E M ブロード・ブラジル (ブラジル・リアルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注2) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

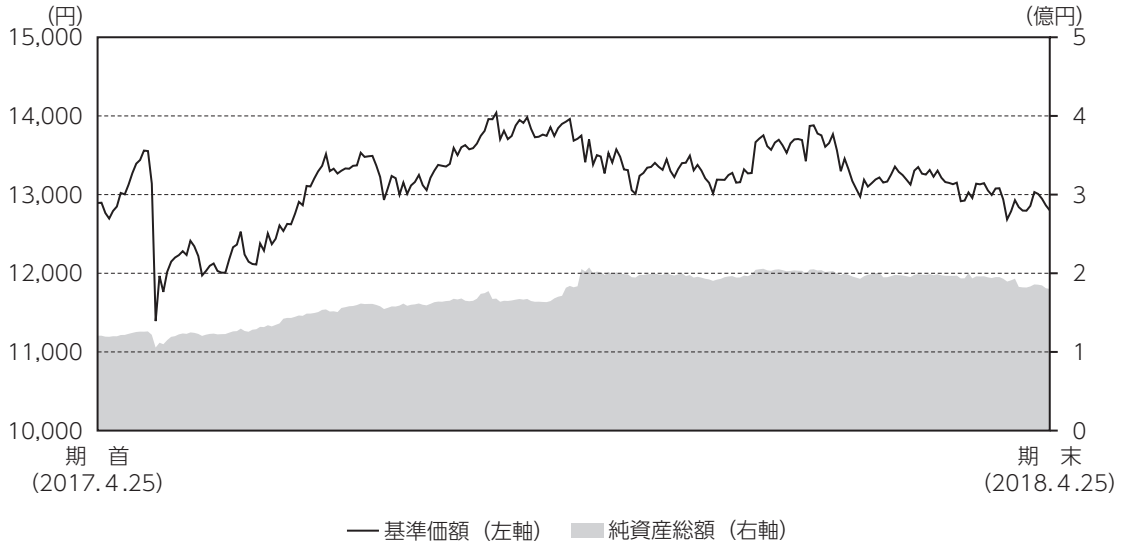
(注3) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

期首：12,893円

期末：12,801円

騰落率：△0.7%

■基準価額の主な変動要因

ブラジル・リアル建ての債券に投資した結果、債券価格の上昇および債券の利息収入がプラス要因となった一方で、ブラジル・リアルが対円で下落したことが主なマイナス要因となり、当期の基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ブラジル・ボンド・オープン（年1回決算型）

年 月 日	基 準 価 額		J P モルガン G B I - E M ブロード・ブラジル（円換算）		公 社 債 組 入 比 率
		騰 落 率	（参考指数）	騰 落 率	
（期首）2017年 4 月25日	円 12,893	% －	13,441	% －	% 96.5
4 月末	12,696	△1.5	13,308	△1.0	96.6
5 月末	12,232	△5.1	12,980	△3.4	94.8
6 月末	12,369	△4.1	13,122	△2.4	94.3
7 月末	13,329	3.4	14,047	4.5	98.1
8 月末	13,303	3.2	14,065	4.6	97.7
9 月末	13,745	6.6	14,508	7.9	97.3
10月末	13,380	3.8	14,146	5.2	96.4
11月末	13,300	3.2	14,184	5.5	95.7
12月末	13,274	3.0	14,169	5.4	94.7
2018年 1 月末	13,608	5.5	14,445	7.5	98.5
2 月末	13,289	3.1	14,111	5.0	98.0
3 月末	13,130	1.8	13,976	4.0	97.2
（期末）2018年 4 月25日	12,801	△0.7	13,676	1.7	96.6

（注）騰落率は期首比。

投資環境について

(2017.4.26～2018.4.25)

■ブラジル債券市況

ブラジル債券金利は、短期の年限は大きく低下（債券価格は上昇）した一方で、長期の年限は小幅に低下しました。

期の前半は、債券の金利は低下しました。2017年5月に、テメル大統領の汚職隠ぺい疑惑の報道により政治の不透明感が大きく高まり、財政改革が滞るとの懸念が高まったことから、金利は一時大きく上昇しました。しかし、インフレ率が低下傾向を見せる中で中央銀行の利下げが続いたことに加えて、議会が大統領に対する起訴の受理を否決したことや、労働規制改革法案を可決したことなどが政治の不透明感の後退につながったことから、金利は低下傾向となりました。期の後半は、短期の金利は低下し、長期の金利はほぼ横ばいとなりました。インフレ率が低下する中で中央銀行が政策金利の引き下げを行なったため、短期の金利は低下しました。一方、年金改革法案が先送りされたため、財政への懸念がくすぶり長期の金利は下げ渋りました。

■為替相場

ブラジル・レアルは対円で下落しました。

ブラジル・レアルの対円為替相場は、期の前半は、社会保障改革への期待から上昇傾向だったものの、2017年5月には大統領の汚職隠ぺい疑惑報道を受けて一時大幅に下落しました。6月から7月にかけては、景気の回復傾向や政治の不透明感の後退によってレアルは買い戻し傾向となりました。その後は、北朝鮮をめぐる地政学リスクの高まりなどの円買い要因もあり、対円で一進一退の推移となりました。期の後半は、年金改革法案の先送りや、それを受けたブラジル国債の格下げが行なわれたことで、レアルは対円で下落しました。また2018年4月には、米国の金利上昇を背景に米ドル高となる中で新興国通貨が全般に下落傾向となり、レアルは対円でもやや下落しました。

前期における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ブラジル・ボンド・マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・レアル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

■ブラジル・ボンド・マザーファンド

主として、ブラジル・レアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債（一般に割引債と利付債をいいます。）ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションおよび種別構成については、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

ポートフォリオについて

(2017.4.26～2018.4.25)

■当ファンド

「ブラジル・ボンド・マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・リアル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

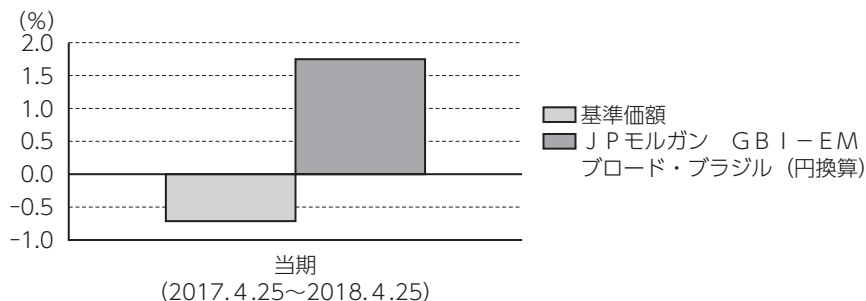
■ブラジル・ボンド・マザーファンド

金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、種類別構成や年限別構成を考慮してポートフォリオを構築しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はブラジル債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目		当 期
		2017年4月26日 ～2018年4月25日
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	2,800

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

「ブラジル・ボンド・マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・リアル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

■ブラジル・ボンド・マザーファンド

主として、ブラジル・リアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションおよび種別構成については、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2017.4.26～2018.4.25)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	192円	1.453%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は13,178円です。
（投 信 会 社）	(86)	(0.652)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目 論見書・運用報告書の作成等の対価
（販 売 会 社）	(100)	(0.758)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後 の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(6)	(0.043)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	19	0.146	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(18)	(0.138)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・ 資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	211	1.599	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況

(2017年4月26日から2018年4月25日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ブラジル・ボンド・マザーファンド	50,946	120,409	25,714	61,569

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ブラジル・ボンド・マザーファンド	52,587	77,819	179,226

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年4月25日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ブラジル・ボンド・マザーファンド	179,226	97.4
コール・ローン等、その他	4,769	2.6
投資信託財産総額	183,996	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月25日における邦貨換算レートは、1ブラジル・レアル＝31.36円です。

(注3) ブラジル・ボンド・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（114,623,315千円）の投資信託財産総額（115,380,387千円）に対する比率は、99.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年4月25日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	183,996,442円
コール・ローン等	2,303,586
ブラジル・ボンド・マザーファンド(評価額)	179,226,698
未収入金	2,466,158
(B) 負債	3,875,358
未払解約金	2,443,690
未払信託報酬	1,423,785
その他未払費用	7,883
(C) 純資産総額(A－B)	180,121,084
元本	140,713,634
次期繰越損益金	39,407,450
(D) 受益権総口数	140,713,634口
1万口当り基準価額(C／D)	12,801円

*期首における元本額は93,606,688円、当期中における追加設定元本額は101,654,003円、同解約元本額は54,547,057円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は12,801円です。

■損益の状況

当期 自2017年4月26日 至2018年4月25日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 604円
受取利息	121
支払利息	△ 725
(B) 有価証券売買損益	△ 1,817,964
売買益	2,424,536
売買損	△ 4,242,500
(C) 信託報酬等	△ 2,500,292
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ 4,318,860
(E) 前期繰越損益金	9,788,774
(F) 追加信託差損益金	33,937,536
(配当等相当額)	(22,924,040)
(売買損益相当額)	(11,013,496)
(G) 合計(D＋E＋F)	39,407,450
次期繰越損益金(G)	39,407,450
追加信託差損益金	33,937,536
(配当等相当額)	(22,924,040)
(売買損益相当額)	(11,013,496)
分配準備積立金	9,788,909
繰越損益金	△ 4,318,995

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は9ページの「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	29,619,280
(d) 分配準備積立金	9,788,909
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	39,408,189
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	39,408,189
(h) 受益権総口数	140,713,634口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ブラジル・ボンド・マザーファンド

運用報告書 第19期（決算日 2018年4月25日）

（計算期間 2017年10月26日～2018年4月25日）

ブラジル・ボンド・マザーファンドの第19期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	ブラジル・レアル建債券
運用方法	①主として、ブラジル・レアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②投資にあたっては、以下のような点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。 イ．金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。 ロ．固定利付債および割引債の組入比率の合計を、信託財産の純資産総額の50％程度以上とします。 ハ．投資する債券は、政府、政府関係機関、国際機関等が発行するものとします。 ③外貨建資産の運用にあたっては、イタウ・ユニバンコ銀行の運用部門であるイタウ・アセットマネジメントの助言を受けます。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	純資産総額の10％以下

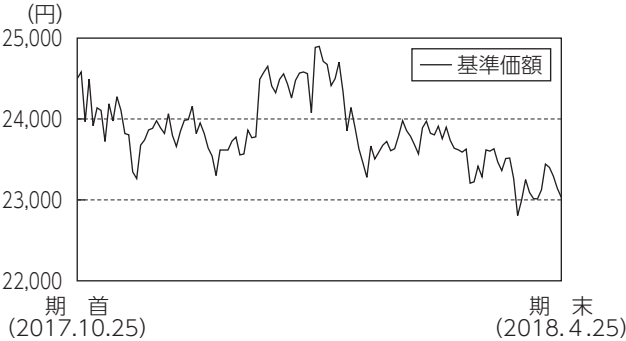
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン GBI-E M ブロード・ブラジル (円換算)		公 社 債 組入比率
	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首)2017年10月25日	円	%	28,757	%	%
10月末	23,917	△2.4	28,166	△2.1	96.9
11月末	23,799	△2.9	28,241	△1.8	96.2
12月末	23,779	△2.9	28,212	△1.9	95.1
2018年 1 月末	24,413	△0.4	28,763	0.0	99.0
2 月末	23,856	△2.6	28,098	△2.3	98.5
3 月末	23,603	△3.7	27,829	△3.2	97.7
(期末)2018年 4 月25日	23,031	△6.0	27,231	△5.3	97.1

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) J Pモルガン GBI-E M ブロード・ブラジル (円換算) は、J Pモルガン GBI-E M ブロード・ブラジル (ブラジル・レアルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J Pモルガン GBI-E M ブロード・ブラジル (ブラジル・レアルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
期首：24,500円 期末：23,031円 騰落率：△6.0%
【基準価額の主な変動要因】

ブラジル・レアル建ての債券に投資した結果、債券価格が上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。また、債券の利息収入は安定的に基準価額の上昇要因となりました。しかし、ブラジル・レアルが対円で下落したことが基準価額の主な下落要因となり、当期の基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○ブラジル債券市場

ブラジル債券金利は、短期の年限では低下 (債券価格は上昇) し長期の年限では横ばいとなりました。
インフレ率が低下する中で中央銀行が政策金利の引き下げを行なったため、短期の金利は低下しました。一方、年金改革法案が先送りされたため、財政への懸念がくすぶったことで長期の金利は下げ渋りました。

○為替相場

ブラジル・レアルの対円為替相場は、下落となりました。
年金改革法案が先送りされたことや、それを受けてブラジル国債の格下げが行なわれたことで、ブラジル・レアルは対円で下落しました。また、2018年4月には、米国の金利上昇を背景に米ドル高となる中で新興国通貨が全般に下落傾向となり、レアルは対円でやや下落しました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として、ブラジル・レアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債 (一般に割引債と利付債をいいます。) ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションおよび種別構成については、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて

金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、種別別構成や年限別構成を考慮してポートフォリオを構築しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。参考指数はブラジル債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

主として、ブラジル・レアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションおよび種別構成については、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	一円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	16 (16)
合 計	16

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって
受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項
目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概
要をご参照ください。
(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況
公 社 債

(2017年10月26日から2018年4月25日まで)

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジル・レアル 253,856	千ブラジル・レアル 489,163 (—)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) (—)内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄
公 社 債

(2017年10月26日から2018年4月25日まで)

当			期		
買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2019/1/1	8,681,899	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F (ブラジル)	10% 2027/1/1	9,032,842
			Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F (ブラジル)	10% 2021/1/1	2,737,116
			Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F (ブラジル)	10% 2023/1/1	2,511,657
			Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2019/1/1	2,115,922

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	額 面 金 額	当 期		未		
		評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上
ブラジル	千ブラジル・レアル 3,560,000	千ブラジル・レアル 3,567,204	千円 111,867,540	% 97.1	% —	% 43.6
						% 40.3
						% 13.2

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分		銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	未		償 還 年 月 日
						評 価	額	
						外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
ブラジル				%	千ブラジル・レアル	千ブラジル・レアル	千円	
		Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	国 債 証 券	10.0000	600,000	629,622	19,744,945	2021/01/01
		Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	国 債 証 券	10.0000	632,000	655,605	20,559,779	2023/01/01
		Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	国 債 証 券	10.0000	560,000	574,140	18,005,030	2025/01/01
		Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	国 債 証 券	10.0000	1,014,000	1,029,473	32,284,293	2027/01/01
		Brazil Letras do Tesouro Nacional	国 債 証 券	—	200,000	191,958	6,019,802	2019/01/01
		Brazil Letras do Tesouro Nacional	国 債 証 券	—	327,000	292,230	9,164,335	2020/01/01
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国 債 証 券	—	227,000	194,175	6,089,353	2020/07/01	
合 計	銘 柄 数 金 額	7銘柄			3,560,000	3,567,204	111,867,540	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年4月25日現在

項 目	当 期	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 111,867,540	% 97.0
コール・ローン等、その他	3,512,846	3.0
投資信託財産総額	115,380,387	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月25日における邦貨換算レートは、1ブラジル・レアル＝31.36円です。
(注3) 当期末における外貨建純資産（114,623,315千円）の投資信託財産総額（115,380,387千円）に対する比率は、99.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年4月25日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	115,380,387,181円
コール・ローン等	764,479,678
公社債(評価額)	111,867,540,333
未収利息	2,748,367,170
(B) 負債	121,871,018
未払解約金	121,868,104
その他未払費用	2,914
(C) 純資産総額(A－B)	115,258,516,163
元本	50,044,709,903
次期繰越損益金	65,213,806,260
(D) 受益権総口数	50,044,709,903口
1万口当り基準価額(C／D)	23,031円

*期首における元本額は55,526,294,031円、当期中における追加設定元本額は358,060,659円、同解約元本額は5,839,644,787円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ブラジル・ボンド・オープン（毎月決算型）48,913,358,774円、ブラジル・ボンド・オープン（年2回決算型）1,053,531,365円、ブラジル・ボンド・オープン（年1回決算型）77,819,764円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は23,031円です。

■損益の状況

当期 自2017年10月26日 至2018年4月25日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	5,397,096,496円
受取利息	5,397,260,247
支払利息	△ 163,751
(B) 有価証券売買損益	△12,984,711,607
売買益	789,148,402
売買損	△13,773,860,009
(C) その他費用	△ 84,100,510
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 7,671,715,621
(E) 前期繰越損益金	80,512,758,426
(F) 解約差損益金	△ 8,124,016,818
(G) 追加信託差損益金	496,780,273
(H) 合計(D + E + F + G)	65,213,806,260
次期繰越損益金(H)	65,213,806,260

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。